

実験名称	電車型特急コンテナ列車による東京・大阪間鉄道活用実証実験							
実験概要	・長距離トラック輸送の、鉄道へのモーダルシフト ・JR貨物と佐川急便が共同開発したスーパーレールカーゴを使用 ・東京 - 大阪間をトラック輸送と同程度の6時間で結ぶ							
申請者	荷主等	佐川急便(株)			物流	東日本運輸興業(株) 日本貨物鉄道(株)		
実験期間	H16年3月13日～H21年3月12日（5年間）							
輸送経路	現行	東京都区内←(トラック)→大阪市内						
	転換後	東京都区内←(トラック)→東京ター(鉄道)→安治川口駅←(トラック)→大阪市内						
貨物	品目	特積貨物			貨物量	179,200トン		
C02 排出量	現行	17,384.4 t-C02/年	転換後	3238.4 t-C02/年	削減量	14,146.0 t-C02/年	削減率	81.4%
補助金 申請額	100,000,000円（ 63,351,581円、 36,648,419円 ）							
施策効果	141.5 t-C02/百万円・年							
備考	往復							

